

# 笑ってごらん

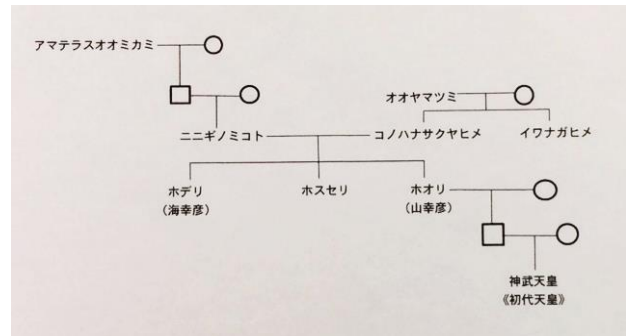
第 569 号 H. 28. 12. 7 発行

～今日のことば～

世に出てくる人って、やっぱりって思うことはとても多いんです。彼らは考えも付かないような努力をしてる。  
(とんねるず石橋貴明)

◇◆平成 28 年も余すところ 25 日となった。来週 15 日（木）には創立 60 周年記念式典が予定されている。昭和 31 年、本校の前身：南薩高等商業学校は警察署跡の建物を借り受けて開校した。以来、幾多の変遷を経て現在に至る。一口で「60 年」というが、かなりの年月である。生まれた赤ん坊が成長し、働くようになり、そして定年を迎えるまでの期間。この間、当然の如く、多くのドラマがある。嬉し楽しいものばかりではない。どうしてよいのかわからない苦難の時期もあった。その「歴史」の一つの節目としての記念式典。大いに盛り上げたいと思う。式典オープニングでは『金峰権現太鼓』の皆さんに華々しい太鼓演奏をしていただく。3 年 2 組の森園さんのお父様が主宰されており、当日は森園さん自身も演奏に加わってもらうことになっている。 ◆『権現』・・・辞書を引くと「仏・菩薩が衆生を救うために、日本の神に姿を変えてこの世に現れること」とある。南さつま市金峰に伝わる神話を紹介しよう。オオヤマツミには二人の娘がいた。

姉イワナガヒメ、妹コノハナサクヤヒメである。オオヤマツミは二人の娘をアマテラスオオミカミの孫ニニギノミコトに嫁がせようとした。しかし、ニニギノミコトは姉イワナガヒメは妻とせず、見目麗しいコノハナサクヤヒメのみと結婚したのである。オオヤマツミは怒り、「イワナガヒメを妻とすればニニギノミコトの命は岩のように永久なものとなるのにそうしなかつた。よって、木の花のようにはかない命となることだろう」と言い、



その後の天皇も神々のようには長生きできていない。この神話のコノハナサクヤヒメは初代天皇：神武天皇の曾祖母にあたる。そのことだけでも歴史の重みを感じざるを得ない。ちなみに本校から観る金峰山は女性の寝顔のシルエットに見えるため『乙女丘』とも呼ばれる。コノハナサクヤヒメの姿なのかも知れない。学園創設者西敏先生が作詞した本校校歌の 2 番冒頭にも『歴史を語る金峰に清爽の気溢れ満つ』とある。神々の懐に抱かれた地であることを基にしている。『金峰権現太鼓』は毎年南さつま市成人式においても新成人への饞の祝い太鼓を奏でておられる。今回は、この地に伝わる神々しい力強い太鼓の響きを通じ、本校の新たな歴史を後押ししてくださるものと期待している。

◆記念式典に続いて記念講演会。以前から案内の通り教育評論家：尾木直樹氏を招き『尾木ママ流 夢をかなえる』と題してご講演いただく。約 260 名の保護者も来場・聴講される。昨日最終打ち合わせ完了！ テレビで観るように楽しいお話が聴けることだろう。

◇◆高校では期末考査を終えた。今は続々と答案が返却され、一喜一憂していることだろう。毎回伝えていることの繰り返しだが、試験は終わった後の動きが重要である。試験点が 65 点であったなら、35 点分は理解できていないことが証明された訳である。合格点超えを喜んでばかりはいられない。しっかり復習を！

## 感謝道

◇◆『政治経済』教科を履修している 2、3 年生が夏休みに課題として取り組んだ「税の作文」。一昨日、知覧税務署長が来校され、特別賞に選ばれた 3 年生 6 名が表彰された。中でも 3 年 9 組上窪さんは熊本国税局長賞という国税庁長官賞に次ぐ栄誉ある賞を受賞した。また、学校賞をいただいた(各県 1 校のみ)。副賞は綺麗なクリスタル調の楯。校長室の卓上に飾っているので機会ある折に見て欲しい。皆さんの努力のおかげである。感謝！